

平成22年度予算案の編成にあたって

1 国及び地方財政の概要

国は、我が国の現状について、景気は回復傾向にあるものの、雇用情勢の悪化などのリスクから、その先行きは楽観できないとし、景気が再び落ち込むことのないよう、税收規模を上回る国債の発行により、平成22年度予算を編成しております。

一方、地方財政は、個人所得の大幅な減少や企業収益の悪化などにより、財源不足が過去最大の規模になると見込まれております。

地方交付税は、1兆円規模の増額を図っているものの、後年度への繰り延べや国と地方の折半による補てんなどにより確保せざるを得ない状況にあり、国、地方ともに、依然として厳しい財政状況にあります。

2 予算編成の考え方

このような中、新久喜市の平成22年度予算編成にあたりましては、合併によるスケールメリットを生かし、合併効果を具現化するとともに、合併協議における調整方針を反映させた予算、新市基本計画の内容を反映させた予算とすることに留意いたしました。

こうして編成した予算の着実な実行によりまして、新久喜市の一体感を醸成し、埼玉県の東北部の拠点都市として発展させ、地域の皆様が、未来に夢と希望を持つことのできるまちづくりを全力で進めてまいります。

3 予算案の規模

平成22年度の予算規模は次のとおりです。

(1) 一般会計	437億	500万円
(2) 特別会計(8会計)	278億5,525万円	
(3) 水道事業会計		
収益的収入	37億	311万4千円
収益的支出	33億5,941万1千円	
資本的収入	1億1,816万7千円	
資本的支出	16億4,598万2千円	